



ひなまつり 3月号

2017 社会福祉法人 栗石保育園



ひなまつり発表会も無事に終わり、いつもののびのびとした子どもたちの笑い声が園内に響いています。立派なステージを勤めた自信からかひとまわり大きくなったように思います。

インフルエンザも大きな流行は今のところありませんが、1週間に1名ずつ診断を受けているのが現状です。新学期まで残り1ヶ月。それぞれのクラスで過ごす時間がよい思い出になるようにご家庭におかれましては十分な休息と栄養の補給をお願いいたします。

看護師の目から見た 子ども達の心の育ち

4月からみると一人一人がそれぞれに成長をしているなと感じるこのごろです。

環境の変わるこれからの時期。指先の小さなささくれを気にして訴えてきたり、頭痛や腹痛の訴えが増える時期でもあります。小さなカットバンを貼ってあげるだけで子どもが安心して遊び始めることはとてもよくあることです。仕事をしながらの子育ては時間もなく大変かと思いますが、ほんの数秒子どもさんにタッチしてスキンシップをとってみてはいかがでしょうか？子どもさんの笑顔がうちのかたの元気の源になってくれるかと思えます。



耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。あまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいたときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



母子手帳の確認を！

新年度に向けた書類を書く時期が来ました。特にあおぐみさんは、予防接種の受け忘れはありませんか？接種券の有効期限を過ぎてしまうと有料になってしまいます。せっかく無料でも予防接種で病気を防ぐことができるのに受けていないのはもったいないですね。たまごさん～きいろさんのおうちの方もぜひこの機会に確認をお願いします。



気になる耳の病気

* 急性中耳炎

風邪をひいた後、のどや耳についた細菌が、咳やくしゃみによって耳の奥にある中耳に入り、炎症を起こします。

(症状) 粘っこい黄色い鼻水が続きます。水溶性の鼻水でもなりやすい子もいます。

耳に激しい痛みがあり、泣いたり耳に手を当てたりします。

黄色い耳だれが出ることがあります。

熱が出ることもあります。

(対応) 耳鼻科で診断を受けましょう。痛みが激しいときは耳の後ろを冷やしてあげましょう。

* しん出性中耳炎

風邪や急性中耳炎の後、鼓膜の内側の内耳に、しん出液がたまっておきます。鼻の奥から耳管にかけて炎症が起こり、鼓膜の動きが鈍くなって聞こえにくくなります。(鼓膜の中は太鼓のようになっています。炎症がない状態の時は空気が入っていて音を振動でつたえています。)

(症状) 耳の聞こえが悪くなるので、呼んでも返事をしなかったり、何度も聞き返しをします。

痛みや発熱など目だった症状がないため気づきにくいですが、発見が遅れると直りにくくなります。

(対応) 気になったら早めに耳鼻科受診をしましょう。



3月の乳幼児健康診査

10日(金) 乳幼児健康診査

17日(金) 3歳6か月児健診

22日(水) 3歳児歯科健診

23日(木) 赤ちゃん相談

詳しくは広報しずくいしで確認のうえお出かけください。

